

# 全力でプレーしながら休むことを知ったFW



## FURUKAWA KENSUKE

古川 健介 (トステムFC)  
①1979年5月26日②184 ㎝・74 ㎏③横浜  
浜フリューゲルスユース-駒澤大学

### 駒澤大学時代

4年からAチームで活躍。巻がケガをする  
とケガの期間その穴を見事埋めた。巻、深井  
という絶対的なストライカーと共に活躍した。  
リーグ戦では2得点を記録。



# 秋

田監督は今待望していることがある。それは『第二の古川』が出てくること。古川とは古川健介という選手のこと。桜井繁、小林久晃(共に山形)、三上卓哉(京都)などと同じ世代の選手である。

古川の大学での生活はお世辞にも誉められたものではなかった。練習をサボり坊主になったり、新人戦の大会登録メンバーを決める日に遅刻したりと散々。「3年までずっとそんな感じでした」(古川)という。しかし、そんな古川に転機が訪れる。4年になりAチームにもあがれない古川は就職活動をしようとしていた。だが、日ごろから「俺は絶対に戦力になると思うから早く監督に認められて一緒にAでやろう」と言ってくれていた小林久晃がキャプテンになったのだ。そして、新チームの構想に古川を入れるよう監督に頼んだのである。監督は3年間の古川を見ていただけに最初は拒んだが渋々了解した。「これでやるきやないと思った」古川は練習に打ち込んだ。潜在能力は元々あつ

ためみるみるうちに成長。リーグ戦でもゴールを決めるほどにまで成長し怪我で欠場していた巻の穴を見事埋めて見せた。秋になる頃にはみなが口を揃えて「変わった」と言うようになっていた。インカレで優勝したときは「終わったあと秋田監督と握手した時、監督やテル(小林)に対する感謝の気持ちとかいろいろものが込み上げてきて涙が出ました。泣くなんて初めてのことだった。ビックリしましたけど(笑)」。その涙はその1年間がどれだけ充実していたのかを物語るものであった。古川はラストの一年を「本当に大切な1年でした」と卒業際はなしてくれた。

監督は「彼は一生懸命やればなにことも出来るという事を証明してくれた選手」だと言う。「私は古川に全力でやりながら休めと指示し、古川はそれを実行した。彼より才能のあるFWはうちにもたくさんいる。しかし、同じ指示をしても休んでしまふんだ」(秋田監督)。監督をもうならせたこの男。盛田、深井などと同等に駒大サッカー部の歴史の中で語り継がなければならない男である。

# リーグ初制覇、影の殊勲者



## NAMIKI AYANORI

並木 史記 (千葉敬愛高校コーチ)  
①1979年6月27日②167 ㎝・60 ㎏③千葉敬愛高校-駒澤大学

### 駒澤大学時代

駒大時代は主に主務業に専念。選手と監督のつなぎ役としてチームに貢献。4年次には初にリーグ優勝も経験した。選手たちからの信頼も絶大だった。



# 主

務と言う仕事は監督の言いたいことを監督にわかりやすく伝えることだと思いません。試合の時は選手と同じ気持ちで最後まで負けないで思うようにしてます。これは並木が私たちに語ってくれた主務のあるべき姿である。

並木の主務歴は1年の頃の1回の遅刻から始まったと言う。そして、2年になると監督から「そっちの仕事が中心だよ」と告げられる。選手にとっては辛い宣告である。誰も駒大で頑張りピッチで活躍することを夢見て入学してくるもの。主務などの仕事がいりたくて入部したのではない。並木も「最初はなんで俺はつかり」と思っていたと言う。それでもサッカー部に残りたいたいという強い気持ちから雑用なども積極的にこなした。その時代を自ら「辛抱の時期」と語る。側で見ていた深井も「並木は二、三年の頃は選手でやるんだ、やるんだと言っていた。だがそのわだかまりも4年になってなくなったと言う。「チー

ムがどんどん良くなっていくのが嬉しくていつの間にかサッカーより駒大サッカー部が好きになっていきましたね」。その心境の変化は外から見えていた私たちでもわかるものだった。ベンチからは誰にも負けない声で指示を伝え、試合に勝てば誰よりも喜び、真つ先に選手に近寄り喜びを分かち合っていた。並木が4年の年にチームは初のリーグ優勝を成し遂げた。その歓喜の中心に並木もいた。選手たちも「主務と言う辛い仕事を本当によくやってくれている」と並木への感謝を忘れなかった。並木は駒大サッカー部を「ファミリーです」と言う。それだけの連帯感が感じられたからこそ今思えば先輩たちが成し遂げられなかったリーグ優勝が出来たのかもしれない。その中心に並木は確かにいた。

並木は今、千葉敬愛高校で指導者への道を歩み始めた。将来の夢は「駒大みたいなチーム」を作ることだそう。強いチームを作るためには何が必要か、それを知っている並木なら必ずその夢を実現してくれるだろう。